

令和 5 年度

「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立豊新小学校

令和 5 年 10 月

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。 R4 82.5% ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R4 0.02 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 R4 16.7% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめアンケートを定期的に実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。	B
指標 学期に1度、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。	B
指標 月に1回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ICTの活用等による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。	
指標 学校に来ることが難しい児童にクロームブックを貸し出し、週に1回以上オンライン学習を実施する。	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 学期に1度、いじめアンケートを実施している。その結果、事案の早期発見につながり、当該児童から丁寧に聞き取りを行うことで、実態把握ができている。2学期以降は、学期に2度実施することとし、より一層事案の早期発見につなげていく。いじめは、どんな理由があっても駄目だという指導を徹底していく。
② 生活指導部会を月に1度実施。校内・学年・学級の現状や取り組みについて情報交換をしている。また、児童理解研修会を5月と1月に実施。事例をもとに児童の実態を共通理解し、ここに合う指導・支援をしている。外部機関との連携は、適宜行っている。しかし具体的な動きが見えづらいという課題がある。そこで、職員会議などで共有を行い、児童理解について「見える化」を促進している。今後も学校全体で、諸問題に取り組むことができる環境づくりを構築していく。
③ ICTの活用により、学校に来ることが難しい児童に対し、オンラインでつながるこ

とで指導・支援している。また家庭とも連携が取れている。ＩＣＴの活用だけでなく、放課後からの登校や、別室指導など様々な形で指導・支援をしている。引き続き、児童・保護者、学校がつながりを継続できる方法を実践していく。

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91 %以上を維持する。 <p style="text-align: right;">R4 93.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 4 年度より 2%増加させる。 R4 39.2% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。	
指標 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を伝え、指導・支援をする。	B
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 体験活動等で得た達成感や充実感をキャリアパスポート等を活用し振り返り、自尊感情の育成を図る。	B
指標 学期に 2 回、キャリアパスポートで目標の設定と振り返りを実施する。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 「豊新学びのきまり」を年度初めに検討・修正し、全教職員で共通理解を図り指導にあたっている。週に 1 度、児童朝会を実施し、看護当番から児童に月目標を伝え、集団生活におけるルールの意識を高めている。課題事案が起こった際には、その都度、該当児童に指導・支援をしている。指導後、必要に応じて、学校・学年全体で共有している。今後も継続的な支援が必要となる。</p> <p>② 学期に 2 度、キャリアパスポートによる目標の設定と振り返りを実施している。また、校外学習やたてわり班活動などを通して、達成感や充実感が得られ集団育成は大いに高まっている。今後も個々の自尊感情の育成をするため、キャリアパスポートの効果的な活用方法を検討していく。</p>	

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 R4 36% ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 R4 国語 3年 0.97 4年 0.99 5年 0.95 算数 3年 0.98 4年 0.86 5年 0.98 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 R4 82.8% ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。 R4 94% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。</p>	B
<p>指標 対話の目標をもとに1日1回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。</p>	B
<p>指標 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、週に1度必ず点検する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>ICT機器を活用しながら、理科的な見方・考え方興味を持たせる。学習の見通しをもって観察・実験を行い、主体的に問題解決ができる活動を取り入れる。</p>	B
<p>指標 単元ごとに、学習者用端末等を使用し、観察や実験結果を記録したものから学習のまとめを実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p>	B
<p>指標 外国語活動・英語教育の教員研修会を年3回実施する。</p>	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 考えを伝え合い、深め合える対話的な授業となる手立てとして、校内で共通した話型を学力向上部から提示している。校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目においては、最も肯定的な答えが49%であり、指標の数値に達した。昨年度と比較しても数値が向上している。(R 4. 36%) 引き続き互いに意見を出し合い、課題解決に向けた対話的な学びとなるように指導を継続する。
- ② 単元ごとの習熟を図るため、学習ドリルや定期的に定着度合いの確認を行い、個々の学力状況や進捗状況を把握している。理解が十分ではない児童に関しては、個人指導や反復学習を行っている。
- ③ 学習者用端末を用いて、観察記録を動画や写真で撮り、自然の事物・事象についての問題を科学的に解決する力を育んでいる。校内調査の「理科の勉強は好きですか」の項目は、92%と指標を大きく上回った。今後、Skymenuやロイロノートといった情報共有システムを活用しながら考えを広め、学習を深めていく。
- ④ 校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は92%で指標をわずかに下回っている。今年度も、C-NEETと交流する「イギリッシュデイ」の開催(8月)やICTを活用した、リアルタイムで他の国とつながる学習活動も予定している。また、モジュール活動や外国語の学習を通じて、児童の興味・関心を引き続き高めていく。外国語活動や英語教育の研修会は、計画通り実施できている。【英語教育研修会(6月)、イギリッシュデイ(8月)、英語授業(11月)】

(様式2)
大阪市立豊新小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p><u>全市共通目標(小学校)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。 R4 73.3% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。</p>	B
<p>指標 学校生活アンケート「休み時間に外で体を動かすことが好きですか」に対して、最も肯定的な「そう思う」を回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。</p>	B
<p>指標 年1回以上の性教育を実施する。9月と2月に「手洗い強調週間」を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>栄養指導や給食指導において、食べることの楽しさやバランスのよい食生活を大切にする気持ちを養う取り組みを行う。</p>	B
<p>指標 食に関する指導や活動を学期に1回以上取り組む。</p>	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① 校内調査の「休み時間に外で体を動かすことが好きですか」の項目で、最も肯定的な回答は47%と指標を下回った。暑さ指数（W B G T）のため、外遊びができない期間が長く、指標に達することができなかった。これから体を動かすのに適した季節・気候になるので、運動委員会を中心に、『運動強調週間』【11月（なわとび）2月（かけ足）】を実施していく。児童が進んで体を動かせるよう、今年度9月より放課後開放も実施している。</p>
<p>② 9月に手洗い強調週間に取り組んだ。チェックカードに記録を記入し、手洗いの習慣が身についているかを振り返りながら手洗いをする意識を付けることができた。毎月保健だよりを発行して基本的な生活習慣について家庭へ向けても呼びかけるとともに、保健委員会を中心に児童が健康についての関心を高められるような掲示や呼びかけを行っている。現在、性の在り方は多様である。社会には様々な人が混在して生活していることから、性教育の確実な実施に向けて年間指導計画を作成した。年度末には、各学年の取り組み内容についての研修会を計画している。生きる力を育むため教材を共有し、発達段階に応じた学習を進めていく。</p>
<p>③ 全学年、栄養教諭による食に関する指導を計画通り隨時実施している。バランスのとれた食事や規則正しい食生活について楽しく学ぶことができ、食への関心を高めることができている。また、給食だよりや栄養ニュースを配付し、正しい食習慣について</p>

児童だけではなく保護者への啓発も行っている。今後、残食が無いようにする「完食目指そうデー」（11月）を給食委員会が実施予定である。

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を61%以上にする。 <p style="text-align: right;">R4 61% R5 64% (7月現在)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p> <p>指標 教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を8回以上行う。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。</p> <p>指標 話型をもとに言語活動の充実を図り、1日1回以上、話し合う活動を取り入れる。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>年3回学力向上weekを実施し、児童の学力向上につなげる。</p> <p>指標 学期に1回の学力向上week（1学期に「計算領域」、2学期に「計算領域」、3学期に「漢字」）を実施する。</p>	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合は64%と指標を上回っており、肯定的に答える児童を合わせると91%の児童が「理解できる」と答えている。主体的・対話的に取り組めるよう、話し合いの場を意図的に設定し、進んで問題解決したくなる導入や授業展開の工夫を実施している。また、落ち着いた教室環境で学習できているなどの理由から、指標を上回ることができたと考えられる。引き続き教員の資質・指導力向上を目指し、研修を重ねていく。【10月20日現在、全体研修会は6回実施】
- 校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目において、84%が肯定的に答えている。今後も話型を活用しながら言語活動の充実を図り、経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目においても、前年度よりも肯定的に答える児童が増えるように、引き続き指導・支援していく。
- 学期に1回の学力向上WEEKを計画的に実施している。最終日に確認テストを実施し、合格点に達することができれば表彰をしている。目標を持つことで、児童は、大変意欲的に取り組めている。（1学期に「計算領域」、2学期に「計算領域」、3学期に「漢字」）引き続き計画に沿って実施していく。

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>【ICTの活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。 <p style="color: red;"><u>R4 93% R5 94% (7月現在)</u></p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。 <p style="color: red;"><u>R4 夏季3日 冬季3日</u></p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号5 DX（デジタルトランスフォーメーションの推進）】</p> <p>ICT（心の天気、デジタルドリルなど）を活用した教育を推進する。</p> <p>指標 日々の授業の中で学習者用端末を毎日使用する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向番号6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>ゆとりの日を週に1回設定・実施する。</p> <p>指標 ゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外においては1日以上設定する。</p>	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① 1学期に実施した学校生活アンケートの「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目については、肯定的に答える児童の割合が94%で目標を達成することができている。昨年度より引き続き行っている「心の天気」により、児童の心の状態や日々の生活の理解を深めることができる。また、デジタルドリルやスカイメニュー、ロイロノート等、学習支援アプリの活用が定着しつつある。今後、既習課題や長期休暇での活用方法を考える必要がある。</p> <p>② ゆとりの日や学校閉庁日の設定をしているが、実際の勤務状況と対応ができていない。業務内容の見直しの観点から、大阪市の「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、学期末・学期初めの事務処理（成績処理や通知表作成、課題の点検、作品応募など）の期間、短縮授業期間（全学年5時間授業）と設定した。今後も、会議の軽減、行事の精選等の工夫をしていく。</p>

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。 R4 85% R5 81% (7月現在) 令和 5 年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を 91%以上にする。 R4 91% R5 93% (7月現在) 令和 5 年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和 4 年度より 1 ポイント増加させる。 R4 88% R5 90% (7月現在) 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】</p> <p>学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。</p>	B
指標 週に 1 回、図書館を利用する。10 月に読書月間を実施する。	
<p>取組内容②【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】</p> <p>芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p>	B
指標 芸術鑑賞行事、3～6 年生で社会見学を確実に 1 回実施する。	
<p>取組内容③【基本的な方向番号 9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。</p>	A
指標 月に 1 回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週 1 回、学年の活動をホームページに掲載する。	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 東淀川図書館から学期ごとに 100 冊借り、学級文庫として活用している。地域ボランティア「がらがらどん」の支援のもと、1～2 年生は月に 1 回、休み時間の読み聞かせをしている。参加人数は、昨年度と比較し向上しているが、1 学期の校内調査の「読書が好きですか」の項目が昨年度より 4% 減少している。本に親しみを持つ手立てとして、引き続き図書委員会を中心に読書月間の実施し、児童が本に触れる機会を増やしていく。
- ② 年間行事計画に基づき、各学年で社会見学や町たんけん、公園の清掃活動等、多様な体験を実施できている。芸術鑑賞行事は、11 月に実施予定。
- ③ 月に 1 度、学年だよりや学校だよりを配付している。また、週 1 回学年の活動をホームページに掲載し、活動の様子を保護者に伝えている。